



## 為政

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

為政は唯一国民への奉仕を求めることである。国民は唯一国家であり、私心を得、ことをなすことは誤りである。

これらは公共性という合意が政治の基本であり、虚飾を持って、政治を求めることは誤りである。

これらは限りない可能性を現実化し、国家の未来を与えることができるのである。これは政治が国家を行うことであるため、その責任は全てに勝るものである。

これらは未来という限りない可能性を政治が決定することであり、政治家に求められる自己の正しさは、国家の未来を与えることにおいて、必要とされるものである。

これらは必ず政治家の志として求められるものであり、世界と未来を有することにおいて、その責任を有するのである。

為政が国民へ未来を与えることは真実である。真摯な自己は、常に正しい選択を要求されるのである。

世界の現実へ、正義と正しい判断は、その未来を与えることにおいて唯一の可能性であり、全ての国民はそれにおいて政治家を注視するのである。

国民にたいする真剣さは、必ず通じるのである。国民が幸せに生活を得ることが政治の責任なのである。

そのため外交や自衛はそれに付随するものであり、国家がその理想を掲げることは、真実において正しいのである。

未来を決定するのは必ず政治家である。その使命は、すべてに勝るものなのである。